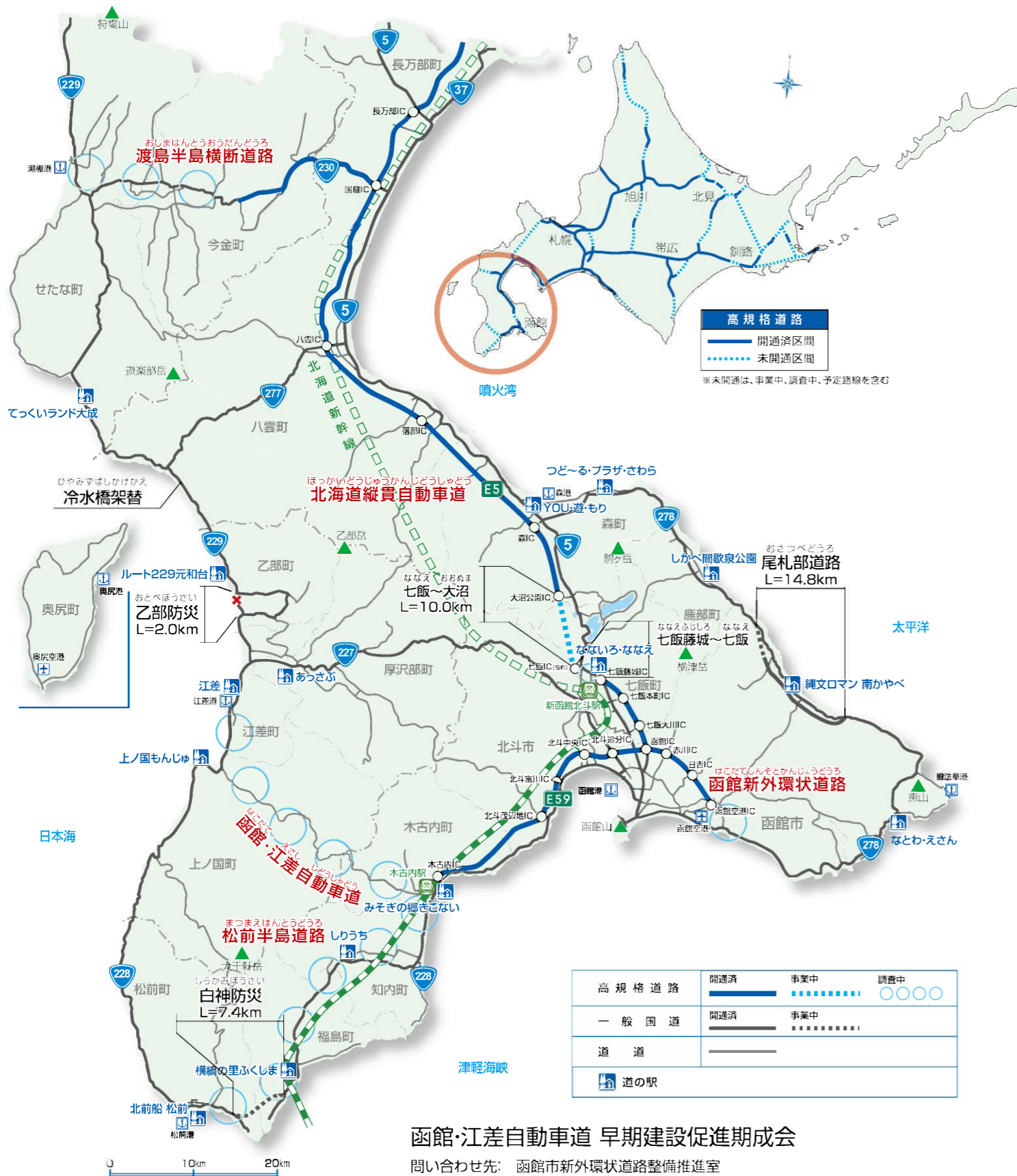


# 高規格道路の整備により、快適な走行性の確保と地域経済の向上、良好な沿道環境を提供します。

北海道が広大な大地の利を生かし、食や安らぎを提供できる地域としての役割を果たすとともに、救急医療や災害時の代替ルートの確保など道民の安全で安心な暮らしをすすめるためには、高規格道路の早期開通が最重要課題であります。

特に、道南地域において、北海道の「強み」である第一次産業（農業・漁業）や観光業をまもるためには、物流や交通の拠点となる空港・港湾といった重要な施設を有し、医療や福祉・介護・教育・商業・娯楽などの高次な都市機能が集中している函館市を中心とした、高規格道路の整備が必要であり、地域の自治体を中心となって期成会を組織し活動を行っております。



## 函館・江差自動車道 早期建設促進期成会

問い合わせ先: 函館市新外環状道路整備推進室  
 〒040-8666 函館市東雲町4番13号  
 TEL:0138-21-3427 FAX:0138-22-4005 令和6年4月現在

# 函館・江差自動車道



北斗中央IC～北斗富川IC間(北斗富川方向)

# 道南圏の飛躍に向けて、高速交通ネットワークの充実を図っています

地域の未来を拓き、安全・安心な暮らしを守ります



函館・江差自動車道は、函館市から江差町までの自動車専用道路として調査・整備が進められています。

本路線は、檜山南部や渡島西部で生産された農産物や各漁港で水揚げされた水産物の流通の利便性を高めるとともに、函館市に集中する高次医

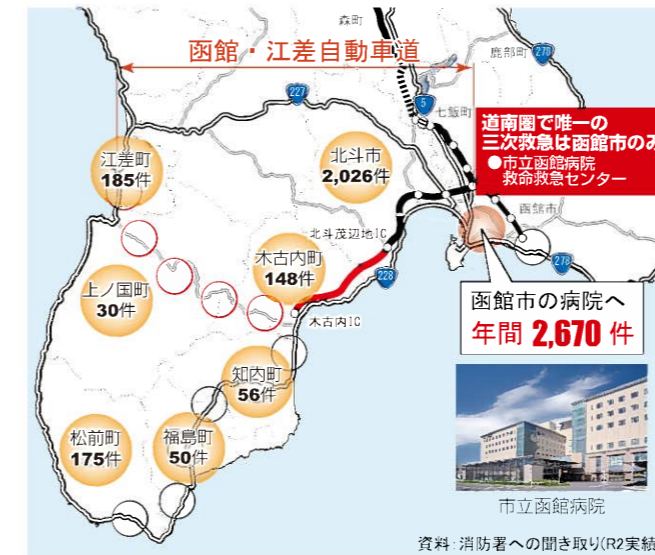
療施設への搬送時間の短縮や災害時における救援物資の運搬など、地域住民にとって安全安心な暮らしを確保するための「命の道」として整備が急がれます。

また、本路線と他の自動車専用道路や新幹線、函館空港・函館港とともに

高速交通ネットワークを形成することにより、南北海道全体との連携強化が図られ、そのことが道南圏の地域力を高め、さらなる発展が可能となります。

## 高次医療施設へのアクセス向上

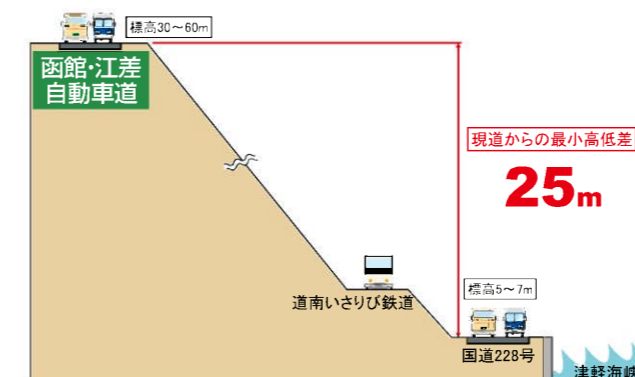
アクセスの向上により、救急搬送の迅速性、救命率の向上が図られます。



## 津波被災時の幹線機能を確保

東日本大震災発生時には津波警報の発令等により、国道228号など沿岸部のほとんどが通行止めとなりました。函館・江差自動車道は国道228号より高いところに位置しているため、地震による津波浸水の被害を回避し、安全で迅速な移動経路を確保します。

●函館・江差自動車道と国道228号の標高差（イメージ）



## 農水産品ブランドを道内・道外へ出荷

函館港や函館空港へのアクセスが強化されることで、流通の利便性が向上します。



## 檜山南部・渡島西部をめぐる周遊ルートの形成

移動時間の短縮が図られ、観光施設などでの滞在時間を増やしたり、立ち寄り地を増やすことができます。



この道が地域の活力を運び、新たな交流が生まれることを願っています